

平成27年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人バーンロムサイジャパン

1 事業の成果

NPO 法人バーンロムサイジャパンは今期（13期）も引き続きタイ・チェンマイにある子どもたちのための生活施設「バーンロムサイ」や、周辺地域の社会的に困難な立場にある人々の支援活動を行ってまいりました。HIVに母子感染した孤児だけではなく、年々増加している犯罪や貧困などの理由により親と暮らすことのできなくなった子どもたちを受け入れ、生活支援を提供し、さらには卒園した18歳以上の子どもたちの生活、教育、医療、就労を支援する活動を継続しています。

我々は、バーンロムサイが所在するナンプレー村の子どもたちと共に活動することを重視してまいりましたが、今年も地域ぐるみとなって青少年の健全な育成を目指す公共活動「地域プロジェクト」においては、実り多い一年となりました。

まず「サッカープロジェクト」では、バーンロムサイの子どもたちとナンプレー村の子どもの合同チーム（HIV感染児と非感染児の混合チーム）を結成していますが、今年も地域大会で優勝を果たし、昨年に引き続き、奨学金を得て進学するチャンスを得た子どもが誕生しました。貧困地域であるナンプレー村では、進学することが容易ではなく、こうした機会を提供することが地域への活力へつながるものと期待しています。

また「図書館プロジェクト」では、寄付でいただいた敷地内の図書館を地域の子どもたちに開放し、その中で読書感想文コンテストなどのイベントを開催することで、地域の識字率向上に貢献しています。

さらに本年度本格始動した「オーガニックファームプロジェクト」については、今後収穫を増やし、その加工品をチェンマイ市内に卸す、などのことを目標としていますが、こうした過程がバーンロムサイの子どもたちや地域の人々に就労の場、また食育の機会提供に繋がればという思いで活動しております。

HIV/AIDSへの偏見から村で敬遠されていたバーンロムサイの子どもたちですが、差別や偏見が少しずつ取り除かれ、村の一員としてバーンロムサイが受け入れられるようになったのは、こうした地域プロジェクトの地道な継続の成果であったと確信しております。今後もこのような活動を大切に積み重ねていきたいと思います。

プロダクツの製作・販売事業と宿泊施設 hoshihana village の運営事業にとって、タイにおける諸物価の高騰や円安も影響し、昨年に続き厳しい一年となりました。そんな中、hoshihana village は昨年よりも安定した収入源となりつつありますし、hoshihana village に今年移転したショップも加わり、来期に期待が持てそうです。円安が続くなか、現地通貨での収入を安定させることの重要性を再確認する一年でした。

今後もこの2事業の更なる安定を目指し、日本国内、タイ国内における社会的に困難な立場にある人々への、地域に根差した支援を行っていきたいと思っております。

2 事業内容

（1）HIV感染孤児並びに社会的に弱い立場にある人々（被差別にある少数民族、貧困など苦境の中で生活する人々や子どもたち等）への支援事業

① HIV感染孤児並びに社会的に弱い立場にある人々に対しての経済的援助事業

a. 内容：

- ・HIV感染児童とバーンロムサイ周辺の村に暮らす子ども達への継続的な啓発活動、読書推進（図書館）プロジェクト、パソコン推進プロジェクト、及び村のゴミ拾い

プロジェクト

- ・バーンロムサイ周辺の村に暮らす貧困家庭の子ども達へのスカラシップ事業
- ・HIV 感染孤児や村の子ども達と少数民族の子ども達が参加するサッカープロジェクト（合同サッカー練習・合宿などスポーツを通じて行う公共プロジェクトとスポーツスカラシップを通じた進学支援）
- ・麻薬や貧困によって親と暮らすことが出来ない子ども達の保護と生活支援
- ・18 歳以上の青少年（HIV 母子感染孤児）への学費・医療費・生活費支援、語学支援・高等教育プロジェクト

b. 日時；平成 26 年 9 月～平成 27 年 8 月

c. 場所：タイ国内（チェンライ県、チェンマイ県、ランプーン県）

d. 従事者人員：30 名

e. 対象者：HIV 母子感染孤児ならびに孤児 40 名、ナンプレー村の子ども達 170 名、少数民族出身者

② HIV 感染者並びにエイズ患者に対しての職業支援事業

a. 内容：

- ・HIV 感染孤児による、NPO バーンロムサイジャパンが運営する縫製場、宿泊施設やオーガニックファームプロジェクト等への就労体験支援
- ・チェンマイ近郊の HIV 女性感染者達による手工芸品の縫製及びノート製作支援
- ・日本国内外のチャリティイベントにおける手工芸品やノートの販売

b. 日時：平成 26 年 9 月～平成 27 年 8 月

c. 場所：タイ国チェンマイ県、日本国内

d. 従事者人員：25 名

e. 対象者：HIV 母子感染孤児 4 名、タイ北部の HIV 感染者及び少数民族 12 名

③ 子どもたちのための生活施設運営の経済的・人的支援事業

a. 内容

- ・子どもたちのための生活施設バーンロムサイへの運営費支援
- ・日本・タイ国内での講演会・トークイベント、またスタディーツアー受け入れを通じたエイズ感染防止啓発活動
- ・日本国内、タイ国内の企業や個人への寄付の依頼
- ・バーンロムサイ財団との合同プロジェクトによる HIV 感染孤児たちの自立支援プロジェクト
- ・バーンロムサイ財団内ならびに村の公共スペースの設備維持修理支援
- ・タイ国内募金箱設置事業

b. 日時：平成 26 年 9 月～平成 27 年 8 月

c. 場所：タイ国内、日本国内

d. 従事者人員：50 名

e. 対象者：HIV 母子感染孤児ならびに孤児 40 名、ナンプレー村の児童ならびに少数民族の子どもたち 60 名/日本・タイ両国のイベント来場者

④ 物品製作販売事業

a. 内容：

- ・チェンマイ縫製場での衣類、雑貨類（バッグ、財布、アクセサリー、カード等）の製作
- ・神奈川県鎌倉市に所在する「バーンロムサイショップ」および、hoshihana village 内に所在する「ホシハナショップ」を通じた商品の紹介と販売事業
- ・日本、タイ国内及びアジア各地で開催される企画展、展示会、イベントを通じた商品の紹介と販売事業
- ・日本及びタイ国内の百貨店等への卸販売事業
- ・インターネットのオンラインショップを通じた商品の販売事業
- ・縫製場における山岳民族及び HIV 感染女性の雇用と職業支援

- ・バーンロムサイの近郊に暮らす山岳民族の伝統工芸品の保持・維持を目的とした商品の染め・織りの依頼及び該当商品の販売
- ・チェンマイ近郊の HIV 感染女性への手工芸品の縫製依頼
- ・日本国内における障害者授産施設への作業依頼

b. 日時：平成 26 年 9 月～平成 27 年 8 月
 c. 場所：タイ国内、日本国内、アジア諸国

d. 従事者人員：30 名
 e. 対象者：HIV 感染女性／少数民族出身の女性／カレン族の村人 15 名／近郊の村在住者／日本授産施設利用者／日本・タイ両国のイベント来場者・来店者

⑤ ゲストハウス運営事業

a. 内容：

- ・HIV 感染孤児施設バーンロムサイに隣接する宿泊施設「hoshihana village」の運営事業
- ・世界各地からの訪問客の受け入れとサービスの提供
- ・宿泊施設の建設及びメンテナンス
- ・ゲストハウスにおける少数民族（タイヤイ族）の雇用と職業支援
- ・ゲストハウスの食事提供を通じた少数民族文化（タイヤイ文化）の紹介
- ・ゲストハウスの食事提供を目的としたオーガニックファームプロジェクト
- ・宿泊施設を利用したスタディーツアーの実施、受け入れと啓蒙活動
- ・宿泊施設での仕事を通じた HIV 感染児童による就労体験と職業支援。

b. 日時：平成 26 年 9 月～平成 27 年 8 月

c. 場所：タイ国内

d. 従事者人員：20 名

e. 対象者：世界各地からの訪問者、少数民族（タイヤイ族）、HIV 感染児童 2 名

（2）芸術・文化・創作活動による、HIV/AIDS 等社会的課題に関する普及啓蒙活動

① 芸術・文化活動を通じて HIV/AIDS、タイ山岳少数民族に関する市民への啓蒙活動

a. 内容

- ・HIV 感染児童らが描いた絵画をリメイクした商品の販売・展示による啓蒙活動
- ・チェンマイ縫製場で働く HIV 感染者ならびに山岳民族出身者による制作物の展示販売による啓蒙活動
- ・日本・タイ国内でのイベントや展示会を通しての HIV/AIDS 啓発活動、寄付の呼びかけ活動
- ・書籍や写真を通しての HIV/AIDS の現状の紹介
- ・写真やパネル展示を通じたバーンロムサイの活動紹介
- ・創作活動を通じたアートセラピーの実践と絵画教室の開催
- ・タイ人女性や山岳少数民族（主にカレン族）の伝統的な織物や染めの文化の紹介と伝統文化のためのプロジェクト

b. 日時：平成 26 年 9 月～平成 27 年 8 月

c. 場所：日本国内、タイ国内

d. 従事者人員：90 名

e. 対象者：HIV 母子感染孤児ならびに孤児 31 名／HIV 感染女性／山岳少数民族の村人／近郊の村在住者／日本・タイ両国イベント来場者

② HIV 感染孤児並びに HIV 感染児童と世界の子ども達とのワークショップ等による国際交流事業

a. 内容：

- ・日本、タイ等、諸外国の訪問者と HIV 感染児童の交流による国際交流プロジェクト

- b. 日時：平成 26 年 9 月～平成 27 年 8 月
- c. 場所：タイ、日本国内など
- d. 従事者人員：10 名
- e. 対象者：HIV 母子感染孤児ならびに孤児 40 名／バーンロムサイへの訪問者 150 名